

ふるさと通信 TOMISATO 増刊号

祝創立40周年

記念文化祭特集

でよい・ふれよい たのしい地域

発行：柏市富里地域ふるさと協議会・富里地区社協部会
<http://www.fk-tomisato.net/>

編集・制作：広報部 furukyo.koho@fk-tomisato.net
 お問い合わせ：Tel 04-7173-9531（富里近隣センター）

太田柏市長が近隣センターに！

11月5日、富里ふる協創立40周年記念式典に出席のため、太田柏市長が富里近隣センターに来館されました。同時開催されている文化祭を視察され、「コロナに負けない活動をしている富里地域は、他地域の見本」と、感想を述べられました。



が、富里地域では対象者をさがすことができなかつたため、市社協の『子ども未来基金』に託すことになりました」と、鶴崎地区社協部会長から趣旨説明があり、山名副部会長より金30万円が、中川市社協会長に手渡されました。



周年事業を行う意義について

富里ふる協会長 佐野 治人



富里ふる協では創立20周年の記念式典以来、10年ごとに多くの来賓をお招きして周年を祝ってきました。それは、10年ごとにそれまでの歩みを振り返り、その反省の上に立って次の10年に向かって歩き出すためです。そこで30周年からの10年間を振り返ってみると、日本中



で、東日本大震災の復興に励んだことから始まりました。御嶽山の噴火で多くの登山者に被害が及び、熊本大地震では熊本城が崩壊しました。利根川流域の薬物混入による断水で、給水活動も経験

しました。そして九州から西日本にかけては、毎年のように台風・ゲリラ豪雨による河川決壊や、がけ崩れなどの被害が発生しました。千葉県においても過去最大の台風が上陸し、富里近隣センターや豊町ふるさと会館で、避難者を受け入れました。一番衝撃的だったのは、今も続く世界に蔓延した新型コロナウイルスの嵐。そしてとどめは、ロシアのウクライナ侵攻や安倍元総理の暗殺という人間の暴力。私には、「これほどの災厄が、たった10年の間に集中した」という記憶はありません。つぎの10年に向けて、私たちはどう歩き出せば良いのでしょうか。いずれも個人では対処できないものです。改めて東日本大震災のとき、皆が口にした「絆」をもう一度叫びましょう。そして、三度犯そうとしている、大戦という過ちを避けるためには、他者を思いやる心が必要です。優しい心を育むために、私たちが地域で協力し合う姿を、子どもたちに示していく事が重要だと思います。



創立40周年記念祝賀会開催

11月5日 富里近隣センター



コロナ禍の影響で、1年延期となった記念祝賀会は、ふれあい文化祭と同時開催となり、富里近隣センターで太田柏市長始め多くの来賓をお招きして、行われました。式典と

懇親会の二部構成で行われ、佐野富里ふる協会長の挨拶の後、太田柏市長、阿部ふる協連合会会長、中川市社協会長のご祝辞を頂戴し、概況報告の動画をご覧いただきました。懇親会では、永塚柏市市民生活部長と山下市社協事務局長からご挨拶をいただき、市内でも人気のジャズバンド「Swing Beat Team HIROSHI」の生演奏が、場を盛り上げてくれました。



概況報告の動画
YouTube

柏子ども未来基金に寄付

富里ふる協 福祉基金

式典の中で、富里ふる協より、市社協へ寄付金の贈呈が行われました。「バザーの収益金などを積み立てた『福祉基金』から、コロナ禍で職を失い、生活が困窮した家庭への、子育て支援をする用意がありました





作品展

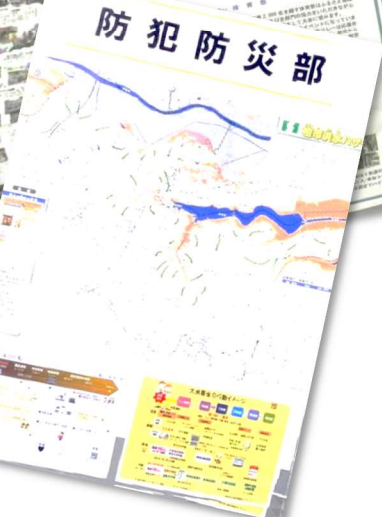
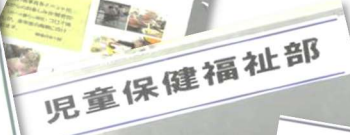


和室

7町会の紹介パネル展示
初めての試みとして、各町会が自主制作した、町会の特徴・歴史・活動を紹介したパネルが展示されました。



各専門部パネル展示
こちらも初めての試みとして、各専門部が自主制作した、専門部の活動を紹介したパネルが展示されました。



示 会 場



地域のアーティストの作品
陶芸、書、フラワーアートなどが
出品されました。




小学生・他の作品
柏第三小、豊小児童からは書・絵
画の出展、一般の参加者からの書
や生花の作品を展示しました。



受付

一般来場者と式典の来賓をお迎え
しました。



スペシャル

【柏第三小と豊小が初共演！】

イベントのオープニングは、柏第三小学校合唱部と豊小学校音楽部の合唱&金管合奏

オープニング

センター駐車場



【柏第三小学校 合唱部】

柏市内の小学校で唯一の合唱部です。4～6年生、46名所属。歌が好きな子どもたちが自分たちで曲を選び、楽しく練習しています。引率された小高副校長先生は、「子どもたちの発表の場を作って頂き感謝をしています。保護者・子どもたちも大変喜んでおります」



【豊小学校 音楽部】

4年～6年生17名で活動しています。金管合奏や唱の練習・発表会などに取り組んでいます。モットーは『楽器を大切にしよう』『時間を大切にしよう』『友達を大切にしよう』です。音楽を通して、それぞれの場面で成長できるように頑張っています。



式典懇親会

和室ステージ

創立40周年記念祝賀会



【創立40周年式典懇親会、パフォーマンスバンドで、会場が盛り上がりました！】

【SWING BEAT TEAM ♪ HIROSHI】

＝市内で演奏活躍をするビッグバンド＝

バンドマスターの石川さんはプロのジャズドラマー。柏市出身者でビッグバンドを結成して10年。市内のイベントや介護施設等で活動。



仮設の控え所での出演前の音合わせ

コンサート



【中原中学校の音楽グループが初出演！】



【中原中学校 オーケストラ部】

＝弦楽器アンサンブル演奏＝

ほとんどの生徒が中学校に入学後、弦楽器を一から始めています。3年生が引退し、1年～2年生10名で活動しています。今年度はTBSこども音楽コンクールや柏市小中学校音楽発表会に出場しました。大勢のお客様の前で緊張しましたが、とても楽しく演奏することができました。



ミニコンサート

和室ステージでの演奏会風景

【中原中学校 スマイル学級】

＝ハンドベル演奏＝

スマイルの音楽の授業で4月から「クワイアチャイム」の練習をしています。今回の曲は中原中文化祭で演奏した作品です。覚えるくらい何回も練習したので、楽譜を見なくても演奏できました。



【あっぶる隊 ばい】

Family Wind Orchestra

＝サクソファンアンサンブル演奏＝

吹奏楽が大好きな、柏市・流山市と周辺に住む子育て中のママ（&パパ&子ども）のファミリープラスです。子どもと一緒に音楽を楽しむことを目的としています。15年程前に結成。現在は、音楽と一緒に成長した子どもたちもメンバーとして活動中です。今回はサクソの精鋭5名で、「どんぐりころころ」のJAZZバージョンや中島みゆき「糸」など、あっという間の楽しい30分間でした。



【でんでんむし】

（柏第三小あじさいの会 OG）

＝読み聞かせイベント＝

柏第三小の読み聞かせボランティア『あじさいの会』OGの有志によるグループです。読み聞かせやお話し会の出前をしています。この度の文化祭では、「かたつむり」の手遊びを会場の皆さんと一緒に楽しんだ後、パネルシアターや大型絵本、就学前のお子さん向け絵本の読み聞かせなど、バラエティーに富んだプログラムで会場の皆さんに楽しんでいただきました。





屋 外 イ

広場

センター裏の広場を多目的に活用。地位ボランティア部の方を中心に子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。



模擬店

有志町会が弁当、防災用品などの販売、実演展示も。



手作りコーナー

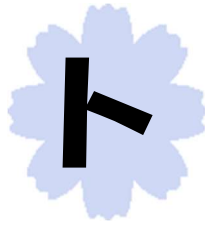
割り箸鉄砲で的を狙って！
バルーンアートで犬も剣もアツという間に！



出演者の控室

2張りのテントの楽屋で、音合わせ





駐車場



駐車場もアトラクション会場に。



オープニング
柏第三小・豊小のコーラス
でイベント開始！



ドラムサークル
大人も子どもも、リズムの輪！



スタンプラリー
受付でカードをもらいスタート。「つぎはどこ？」

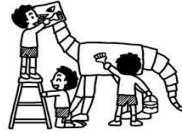


交通誘導・駐輪場整理
今回は、防犯協会のメンバーが
担当してくれました。



手作りのイベント大成功！

開催スタッフの裏話



《準備作業こそ活動の醍醐味》

文化祭前日には丸一日をかけて会場づくりをしました。展示用ボードや作品展示台の設置、作品の展示、

式典の設営、野外イベントの設営などを行いました。この作業だけのために参加してくれた方も少なくありませんでした。コロナ禍始まって以来、初めての大型イベントは、陰で支えとなった多くのスタッフの手で、無事に終わらせることができました。



展示会場の設営は、ふる協役員、委員らが担当。

《準備は昨年度から》



コロナの影響で延期となっていた富里ふる協創立40周年事業計画を、執行部で検討した結果、地域の皆さんと共に祝うために、今年度の文化祭の中で行うことにしました。同時に開催するは全員参加が不可欠。実行委員会は役員会が兼務することになり、周年記念にふさわしいイベントをと、検討を重ねてきました。



祝賀会の準備としては、コロナ禍で制限された予算を、記念品に充当、ロゴマークの制作など昨年度から準備をしてきました。また、来賓リスト作成、

当日披露する「活動報告」の動画制作、懇親会の目玉としてジャズバンドの出演交渉なども春先から行ってきました。

《新企画には新たな協力者が》

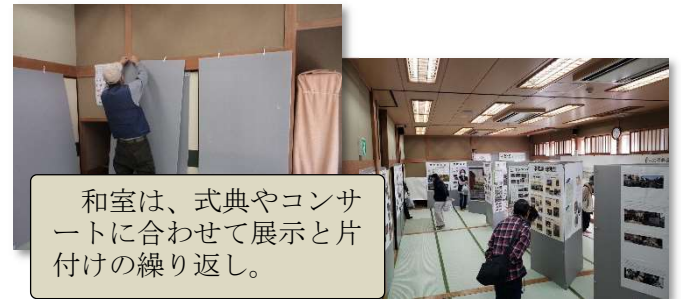


文化部を中心に、2日間を通した新しいプログラムを企画しましたが、それに伴って裏方の作業も増えました。オープニングの会場となっ



た駐車場では、椅子出しや音響設備などの設営作業。出演者が増えたため、控えのスペースとして裏庭にテントを用意。舞台がある和室は、式典や出演者の入れ替わり、休憩時間

などの度に専門部の展示物を出し入れする作業が必要となりました。こうした裏方作業にも多くの方の協力がありました。



和室は、式典やコンサートに合わせて展示と片付けの繰り返し。



柏第三小、豊小児童の絵や書を展示板に取り付ける文化部員。作品は返却するため作業は丁寧に

《自分たちの活動を紹介》



富里地域の活動を、地域の皆さんにアピールするために、各専門部会や各町会の活動紹介を、展示物にして出展、また文化祭のアトラクションとして、模擬店・ゲームブースな

どを出店していただきました。「不十分ではあるけれど、初めて自分たちの活動を、文化祭を通じて、地域の皆さんにアピールできた」といううれしい声もありました。



2日間で千人近い来場者を数えました。皆様のご協力は、まだまだ伝えきれませんが、本号をご参加いただいたすべての皆様の真心に捧げます。大変ありがとうございました。

富里ふる協広報部